

2023年6月23日

福岡市「教育データ連携基盤プロトタイプ試行検証及び要件定義（調達支援）に係る業務委託」を NTT Com が受託

NTT コミュニケーションズ株式会社(以下 NTT Com)は、福岡市が公募した「教育データ連携基盤プロトタイプ試行検証及び要件定義（調達支援）に係る業務委託」（以下、本業務）を 2023 年 6 月 22 日に受託しました。

福岡市がめざす姿である「自ら問題を発見し、学習を調整しながら学ぶ子ども」の実現に向け、児童生徒に関する様々なデータを連携する基盤を構築し、データを有効に活用していく環境を整備していきます。

1.背景

福岡市ではデータ駆動型教育への転換に向け、校務系システムや学習系クラウドサービス、福岡市教育委員会による各種調査結果等のデータを集約・可視化し、個別最適な学びと客観的な根拠に基づく教育施策の立案等及び「教育データ連携基盤」の構築を推進するため、本業務を公募しています。

一方、NTT Com は公教育において、「学習 e ポータル^{*1}」として No.1 シェア^{*2} を獲得している「まなびポケット」の提供および、「統合型校務支援システム^{*3}」へのシングルサインオンが可能になる「統合認証サービス」の展開など、多くの学校に先進的なサービスを提供し、児童生徒の一人ひとりが自分らしく学べる社会の実現を推進しています。

今回、NTT Com は、これまでに培った知見をもとに福岡市のめざす教育施策の立案に寄与するため、公募に応募し、受託に至りました。

2.本業務の概要

本業務の概要は以下の通りです。

- ・校務系システムや学習系クラウドサービス、福岡市教育委員会による各種調査結果などから取得されるデータを活用する「教育データ連携基盤」のプロトタイプの開発、およびプロトタイプを利用した試行検証
- ・令和 7 年度に福岡市が調達を予定している「教育データ連携基盤」の設計開発に関する要件定義

3.今後の展開

令和 5 年度～令和 6 年度において「教育データ連携基盤」のプロトタイプによる試行検証の業務を遂行し、具体的な教育データの活用イメージ及びシステムの構成イメージを固めていきます。

NTT コミュニケーションズ株式会社 広報室

NTT Communications Corporation Public Relations Office

〒100-8019 東京都千代田区大手町 2-3-1 大手町プレイスウエストタワー

OTEMACHI PLACE WEST TOWER 2-3-1 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8019, Japan

Tel (03)6700-4010 International +81 3 6700 4010

NTT ドコモ、NTT Com、NTT コムウェアは、ドコモグループの法人事業を統合し、法人事業ブランド「ドコモビジネス」を展開しています。「モバイル・クラウドファースト」で社会・産業にイノベーションを起こし、すべての法人のお客さま・パートナーと「あなたと世界を変えていく。」に挑戦します。



<https://www.ntt.com/business/lp/docomobusiness.html>

NTT Com は、事業ビジョン「Re-connect X[®]」にもとづき、お客さまやパートナーとの共創によって、With/After コロナにおける新たな価値を定義し、社会・産業を移動・固定融合サービスやソリューションで「つなぎなおし」、サステナブルな未来の実現に貢献していきます。

Re-connect X

<https://www.ntt.com/about-us/re-connectx.html>

- ※1：学習 e ポータルは、GIGA スクール構想で整備された一人一台環境と高速ネットワークを活かし、ソフトウェア間の相互運用性を確立してユーザーにとっての操作性を向上させるとともに、教育データをより良く活用するために構想された、日本の初等中等教育向けのデジタル学習環境のコンセプトのことで。
- ※2：当社調べ
- ※3：「統合型校務支援システム」とは「教務系(成績処理、出欠管理、時数管理など)・保健系(健康診断票、保健室来室管理など)、学籍系(指導要録など)、学校事務系など統合した機能を有している校務支援システム」を指し、成績処理だけでなく、グループウェアの活用による情報共有も含め、広く「校務」と呼ばれる業務全般を実施するために必要となる機能を実装したシステムです。